

学校教育推進委員会報告

平成23年11月15日実施

(1) 今年度の上半期の学校の取組をパワーポイントを使っての説明(校長)

- ① 教科指導の充実……若い先生方の授業研究を数多く実施し資質の向上に努めた。
- ② 生徒指導の充実……学校行事を通して生徒が主体的に取り組む場面を配慮した。
- ③ 人権教育の推進……「共生共育プログラム」と効果測定の結果によるクラスごとの変容
- ④ 開かれた学校づくり……学校HPの充実、学校便り等の発行、地域連携、PTA連携、小中の交流、中高の連携
- ⑤ 幅広い教育活動への取組

(2) 協議

<生徒>

- ・行事の取組でもめることもあり、まとまるのに時間がかかるが、みんなでやろうと思う人が多い。
- ・水筒通年化は生徒の意思で決めた成果である。
- ・1年で1つでも話し合い、提案が通ればいい。
- ・行事の変更点がしっかり生徒に伝わらず戸惑った。特に文化祭。
- ・体育祭の準備期間が短かった。
- ・3年生にもう1年中学校生活ができたらという質問に対して
 - ①部活動と生徒会の両立をしたい。
 - ②他にもやってみたい。



<PTA>

- ・ルールのある方を考えしっかり話し合い自ら守るべき事で守れなかったら廃止も考える。
- ・生徒総会で決めている様子も是非見せてほしい。
- ・今年は例年より大変とは思わなかった。

<他校校長・地域>

- ・体育祭での練習の成果はリーダーの頑張りにある。
- ・短い練習期間を有効に使った。
- ・西有馬小との階段の清掃を中学生が自発的にやってくれて感謝している。
- ・有馬中に来校すると、きちんとみんなが挨拶してくれるが、街中では小学校時代の卒業生でも挨拶してくれない
- ・生徒同士の意見の対立をうまく解決しているようだ。



(3) 「中学生になって自分が変わったと思うことは？」

- ・切り替えが出来るようになった。
- ・先輩の存在が大きい。
- ・生徒会だけでなく、何事にもリーダーがいる。
- ・小学校6年間は何となく過ごしてしまったが、中学校3年間は短いから頑張ろうと思う。
- ・友達の影響大きい。クラスの団結。いじめ等に対しても。
- ・みんなが協力できる。(3年生に入試で面接で有馬中の良い点を聞かれたららの質問に)
- ・決まりを守り、その上で工夫が出来る。(同 上)

(4) 大人だけの話し合いの中で(学校評価アンケートの報告を元に)

- ・クローズ型の配信メールの精選。ねらいを考えて緊急時以外の連絡は不要ではないか。全員加入しているわけではないので伝わらない家庭への配慮。帰り学活で生徒に伝えることまで親切すぎるし、家庭で会話すべき内容に入っていないか。
- ・自然に挨拶が出来、来校時に生徒自身の自由さと礼儀正しさを感じる。
- ・アンケートには学校情報が少ないという声が多いがどのような方法が希望なのか。
- ・授業態度の差は様々な改善が必要ではないか。